

- ✓ 35S自在ジョイント ブラック新発売!
- ✓ 施工マニュアル リニューアル
- ✓ ファーストリフォーム20周年のご案内
- ✓ 作業療法士からみた住宅改修
- ✓ 建築から見るデザイン紀行

35セレクトシリーズ ブラックに早くも新アイテム登場!

BAUHAUS

Select Series

35セレクトシリーズ ブラック

NEW

介護
保険 改修

暮らしに
シックなアクセント、
艶消しブラック仕上げ。

35セレクトシリーズ ブラックの詳細はコチラから▶
https://www.mazroc.co.jp/selectseries_black/

35S自在ジョイント

ジョイント部 カップ部

連続した手すりの
勾配変更や
入隅や段差解消に。

**2025.
2月
新発売**

入隅

施工マニュアル2025年版完成! 20周年を迎えました!

S自在
ジョイント
追加!

屋内木製手すり
シリーズ

S支柱や
アルミ
ジョイント
など

フリーRレール
(屋外用)

樹脂
スペーサー
追加!

32ステンアクアレール
(屋内・屋外用)

発売済みのアイテムが全て追加された最新版です。
マツ六Webサイトより閲覧・ダウンロードいただけます。
※今現在のところ2025年版は電子カタログのみで、印刷物はございません。
予めご了承ください。

▲電子カタログはコチラから <https://www.mazroc.co.jp/technical/>

変わらず、 変わる。

ハタチのファーストリフォームです!

施工のプロのための住宅建材通販
「ファーストリフォーム」は
おかげさまで2025年1月に
グランドオープンから20周年を迎えました。
20周年を記念した特設サイトでは
スペシャルコンテンツとしてアニバーサリー企画を
順次公開しています。ぜひご覧ください。

特設サイトを見る ▶▶▶ <https://firstreform-ml.com/20th>

ファーストリフォーム

20th

ANNIVERSARY



社会・生活環境研究所
作業療法士
二級建築士

山田 隆人

コラムに関する
ご意見・ご感想を
お寄せください！

ご協力いただいた方の中から
毎月抽選でプレゼントも！
詳細は下記をご覧ください。



[https://event.mazroc.com/
column-goiken](https://event.mazroc.com/column-goiken)

住宅改修

転居を選択する際に 確認しておきたいポイント

高齢者の生活機能等が変化することにより、いま居住している場所での生活の継続が困難になり、転居を選択する場合は少なくありません。例えば、いわゆる「呼び寄せ」高齢者となる場合や転居してサービスを受け生活を継続する場合、施設入所を利用する場合等があります。

今回は、呼び寄せ高齢者となり転居をする場合に、事前に確認しておきたいポイントを整理したいと思います。

呼び寄せ高齢者の場合には転居の仕方として「同居志向型」「近隣志向型」があり、その形態は親子関係が重要であるとされています。

高齢者の転居後の適応を確認した調査があります。適応群は、住環境が良くなったと感じている、同居家族以外からのソーシャルサポートをもち、友人との交流頻度が多いとしています。非適応群は、年齢が高く、要介護認定を受け、転居の意思決定は非自発的で、転居先が知らない場所でした。

別の調査で、呼び寄せ高齢者となるのは精神機能が中等～重度、歩行状態がつかまり歩行以下になってからが多いとしています。介護者が呼び寄せて良かったとするのは、男性が多く、呼び寄せ前準備期間が3か月以上、人間関係が良く、訪問看護を受け入れ、認知症の症状がなく、伝い歩きレベルとしています。

転居や生活環境の転換を図る場合は、高齢者自身にその必要性を認識してもらい、次に生活環境の転換に向けた準備を行い、実際に生活環境を転換する3つのステップが必要であると思います。

転居を検討する要因や生活の継続ができなくなる状況を支援者・家族と高齢者自身で確認できていれば比較的移行は行いやすいと思います。階段昇降や段差昇降が困難な状況になる、介護支援者が変わる、配偶者の入院や死別などが、転居や生活環境を転換する要因になると思います(図1)。

高齢者の1回目の住み替えは、中学校区程度の距離が多いとされています。居住地域の人々との関係、サービス等の利用を継続していくためだと思います。それ以上居住地から離れた地への転居等を見据えるのであれば、準備として、転居先に慣れる為に短期的でも過ごす期間を設けましょう。趣味の会や文化教室など、外出して過ごす機会・場所を検討し、可能であればお試し参加ができれば良いと思います。これらの過程を経て転居ができれば、新たな生活環境に適応しやすくなります。転居前に生活機能に合わせた住宅改修を行っておくことをお忘れなく。



図1) 高齢者の転居を検討する要因

参考文献

- 1) 平井誠:大都市郊外地域における高齢者転入移動の特性、埼玉県所沢市の事例、地理学評論 Ser. A, 72(5), 289-309, 1999
- 2) 工藤慎子, 三國久美, 桑原ゆみ, 森田智子, 保田玲子:都市部における高齢者の転居後の適応と関連要因、日本地域看護学会誌, 8(2), 14-20, 2006
- 3) 水野敏子, 高崎絹子:子供の近くに転居してきた「呼び寄せ老人」に関する研究:「呼び寄せ」に対する介護者の認識とその関連要因の分析、老年看護学, 3(1), 1998
- 4) 野原康弘, 佐藤米治:介護シブデータを用いた高齢者の住み替え動向の把握手法に関する研究、日本建築学会技術報告集, 30(75), 2024

建築から見る

デザイン紀行 6

～過去から現在そして未来へ～

光明院 (京都府・京都市)

室町初頭の1391年(明德二年)、東福寺の塔頭として金山明禪(きんざんみんしょう)により創建された寺院。紅葉で有名な東福寺の六波羅門のすぐ南に位置



します。
私が訪れたのは11月末。紅葉の見ごろにはまだ少しはやいにもかかわらず東福寺には多くの方が訪れ、最寄り駅では通路が制限されるほどの賑わいの中、光明院だけはひときり落ち着いた雰囲気を感じていました。



山門から受付まではどこにでもありそうな通路でしたが、建物に入った瞬間、雰囲気が一変。薄暗い広間の先に太陽に照らされた石庭が見え、さらに先へ進むと外観からは予想できない池泉式の枯山水庭園が広がっていました。

建物の配置も今まで訪れた寺社仏閣とは異なる印象。庭園を囲むようにして建物が配置され、入口から右側の奥には立派なお堂と正面には石庭とその上にはセンスの良い茶室があります。まるで山の中にあるお寺のように階層レイヤーが分かれ、敷地自体はそれほど大きくないものの視覚効果により、実際より広く見えて時間軸も雰囲気も異なる世界でした。



谷崎潤一郎氏のいう陰翳礼讃(いんえいらいさん)とは、こういうことかと身をもって感じる自然光の芸術と日本人の美意識である侘び寂び、限られたスペースを最大限に活用した錯視が織りなす見事な寺院は、地味でありながら唯一無二でありました。

機会があれば是非訪れてみてはいかがでしょうか。

未来を変える一歩を
いっしょに。

たよれールシリーズ

MOTOE
モトエプロジェクト

地球に優しい福祉用具の
サーキュラーエコノミー。



福祉住環境
コーディネーター 道
の答え: ③ 羞明

マツ六公式SNS
更新中!



Instagram ▶ @mazrocofficial
X ▶ @mazrocofficial1

Facebook ▶ facebook.com/mazroc/
YouTube ▶ @mazrocsho

発行元: マツ六株式会社

〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
TEL 06-6774-2255 (代表) FAX 06-6774-2248

<https://www.mazroc.co.jp/>

MAZROC 2503-1

